

第3章 中間評価の結果

I 結果の概要

全66項目について、その達成状況を評価・分析した結果をまとめた。

a（改善している）は26項目（39.4%）で、そのうち既に目標に到達しているのは13項目（19.6%）であった。b（変わらない）は14項目（21.2%）、c（悪化している）は8項目（12.1%）であった。また、d（評価困難）が18項目（27.3%）あった。【表1】【表2】【表3】

【表1】指標の評価状況

策定時のベースライン値と直近の実績値を比較	全体
a 改善している	26 (39.4%)
b 変わらない	14 (21.2%)
c 悪化している	8 (12.1%)
d 評価困難	18 (27.3%)
合計	66 (100%)

【表2】基本的方向毎の評価状況（※<>内は、基本的方向内における割合）

基本的方向	1	2	3	4	5	全体
a 改善している		8 <57.1%> (12.1%)	6 <42.9%> (9.1%)	1 <25.0%> (1.5%)	11 <34.4%> (16.7%)	26 (39.4%)
b 変わらない	1 <50.0%> (1.5%)	4 <28.6%> (6.1%)			9 <28.1%> (13.6%)	14 (21.2%)
c 悪化している			3 <21.4%> (4.5%)	1 <25.0%> (1.5%)	4 <12.5%> (6.1%)	8 (12.1%)
d 評価困難	1 <50.0%> (1.5%)	2 <14.3%> (3.0%)	5 <35.7%> (7.6%)	2 <50.0%> (3.0%)	8 <25.0%> (12.2%)	18 (27.3%)
合計	2	14	14	4	32	66 (100%)

【表3】元気県ぐんま21（第2次）中間評価 結果一覧

項目	評価
1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現に関する目標 項目数 2	
①健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の延伸）	b
②健康格差の縮小（日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小）	d
2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底に関する目標 項目数 14	
（1）がん	
①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（人口10万当たり）	a
②がん検診の受診率の向上	a
（2）循環器疾患	
①脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少（人口10万当たり）	a
②虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（人口10万当たり）	a
③高血圧の改善（収縮期血圧の平均値の低下）	a
④脂質異常症の減少	b
⑤メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	b
⑥特定健康診査の実施率の向上	a
⑦特定保健指導の実施率の向上	a
（3）糖尿病	
①合併症（糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数）の減少	b
②治療継続者の割合の増加	b
③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1cがJDS値8.0%（NGSP値8.4%）以上の者の割合）	a
④糖尿病有病者の増加の抑制（40～75歳）	d
（4）慢性閉塞性肺疾患（COPD）	
①COPDの認知度の向上	d
3 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上に関する目標 項目数 14	
（1）こころの健康	
①気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少（20歳以上）	c
②メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	c
③小児人口10万当たりの小児科医の割合の増加	a
④自殺者の減少	a
（2）次世代の健康	
①朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加	d
②運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	d
③全出生数中の低出生体重児の割合の減少（出生千人あたり）	a
④肥満傾向にある子どもの割合の減少	a

項目	評価
(3) 高齢者の健康	
①介護保険サービス利用者の増加の抑制	d
②認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	d
③低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合の増加の抑制	a
④ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している県民の割合の増加	d
⑤足腰に痛みのある高齢者の割合の減少（千人当たり）	a
⑥高齢者の社会参加の促進（社会貢献活動をしている高齢者の割合の増加）	c
4 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標	項目数 4
①地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う県民の割合の増加）	d
②健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加	c
③健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加	a
④健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加	d
5 生活習慣及び社会環境の改善に関する目標	項目数 32
(1) 栄養・食生活	
①適正体重を維持している者の増加（肥満（BMI25以上）、やせ（BMI18.5未満）の減少）	b
②朝食欠食者の減少	b
③主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	c
④食塩摂取量の減少	a
⑤野菜と果物の摂取量の増加	c
⑥食事を1人で食べる子どもの割合の減少	d
⑦食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店等の登録数の増加	b
⑧利用者者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	a
(2) 身体活動・運動	
①日常生活における歩数の増加	b
②運動習慣のある者の割合の増加	b
③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む市町村数の増加	d
(3) 休養	
①睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	b
②週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	d
(4) 飲酒	
①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりのアルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少	b
②未成年者の飲酒をなくす	d
② 妊娠中の飲酒をなくす	d

項目	評価
(5) 喫煙	
①成人の喫煙率の減少	b
②未成年者の喫煙をなくす	d
③妊娠中の喫煙をなくす	d
④受動喫煙防止対策未実施の施設の割合の減少	d
⑤受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	a
(6) 歯・口腔の健康	
①3歳で不正咬合等が認められる者の減少	a
②60歳代で食事中にムセたりすることがない者の割合の増加	c
③自分の歯を有する者の割合の増加 (80歳で20歯以上の者、60歳で24歯以上の者、40歳で喪失歯のない者)	b
④歯周病を有する者の割合の減少 (17歳における歯肉に炎症所見を有する者、40歳代における進行した歯周炎を有する者、50歳代における進行した歯周炎を有する者)	c
⑤歯周病予防を行っている者の割合の増加 (40歳代で歯石除去や歯面清掃を定期的に受ける者、40歳代で歯間清掃用具を使用する者)	a
⑥喫煙により歯周病にかかりやすくなることを知っている者の割合の増加	a
⑦乳幼児・学童期のう蝕のない者の増加 (3歳でう蝕のない児、3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する児、12歳児の一人平均う蝕数)	a
⑧フッ化物歯面塗布を受けている児の割合の増加 (3歳までにフッ化物歯面塗布を受けている児、3歳までに3回以上フッ化物歯面塗布を実施している市町村、フッ化物洗口を実施する市町村)	a
⑨定期的な歯科検診を受けている者の割合の増加 (定期的に歯科検診を受けている者、40歳代でかかりつけ歯科医をもつ者)	a
⑩健康増進事業における歯周疾患検診を実施している市町村の増加	a
⑪妊婦を対象とした歯科検診を実施している市町村の増加	a